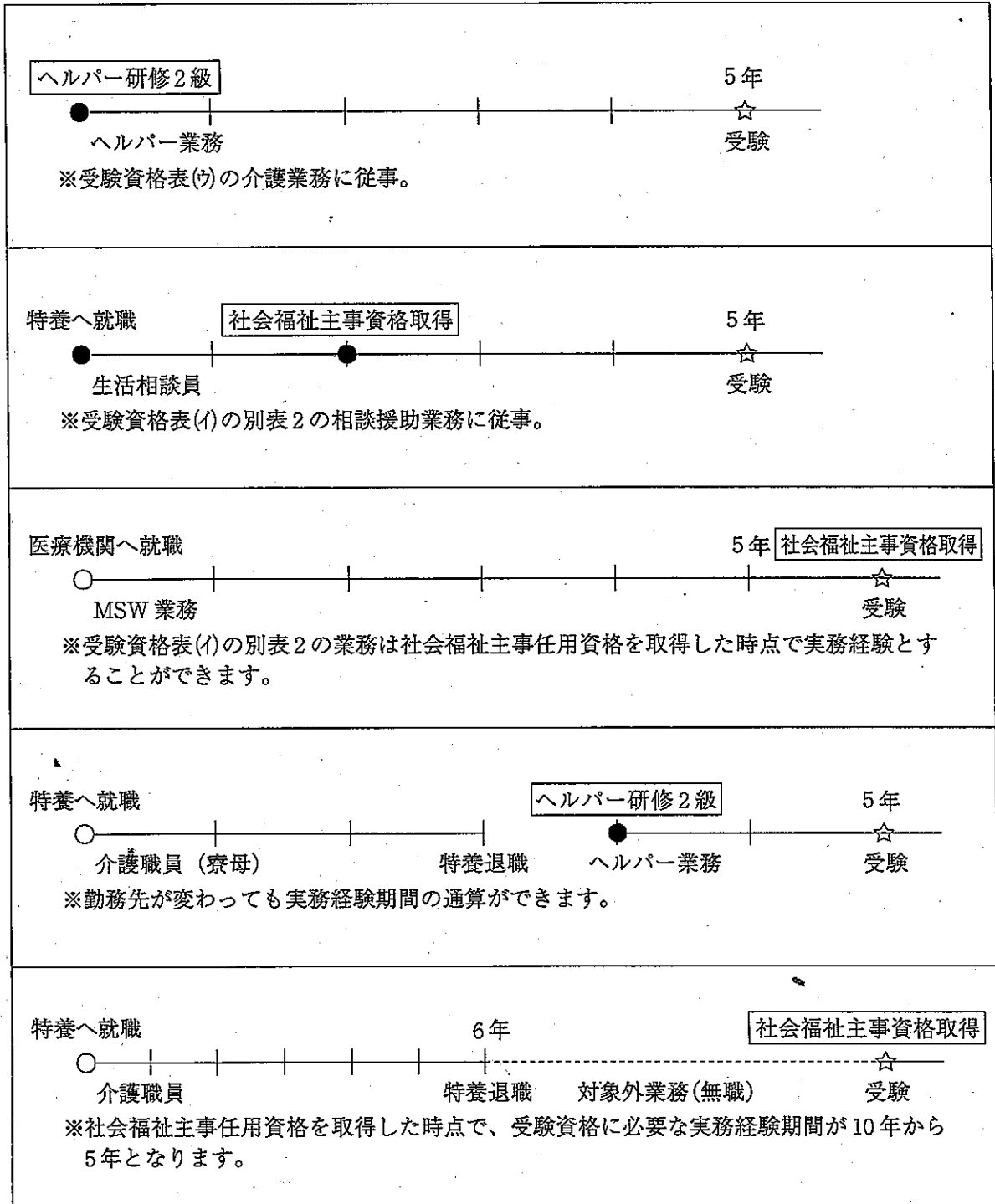


17 実務経験期間の通算の具体的事例

(1) 国家資格等取得者の場合 (受験資格表は4ページ)

<p>薬剤師免許登録 5年</p> <p>●-----☆</p> <p>薬剤師法に基づく薬剤師業務 受験</p> <p>※受験資格表(ア)の国家資格等 (以下、対象国家資格等) に基づく業務。</p>
<p>准看護師免許登録 (栄養士) 看護師免許登録 (管理栄養士) 5年</p> <p>●-----●-----☆</p> <p>看護業務 (栄養士業務) 受験</p> <p>※准看護師の期間を通算する場合は、准看護師免許も添付してください。 栄養士、管理栄養士の場合も同様とします。</p>
<p>特養へ就職 対象国家資格等登録 5年</p> <p>○-----●-----☆</p> <p>生活指導員 (生活相談員) 特養退職 対象国家資格等に基づく業務 受験</p> <p>※勤務先の業務内容が変わっても実務経験期間の通算ができます。</p>
<p>医療機関へ就職 5年 対象国家資格等登録</p> <p>○-----☆</p> <p>MSW 業務 受験</p> <p>※受験資格表(ロ)の別表3の業務は国家資格等に登録された時点で実務経験とすることができます。</p>
<p>特養へ就職 対象国家資格等登録 5年</p> <p>○-----●-----☆</p> <p>介護職員 (寮母、生活相談員) 受験</p> <p>※試験前日までに対象国家資格等を取得すれば受験資格等に必要な実務経験期間が10年から5年になり、別表2-(1)(2)、別表3-(1)(2)、別表4のすべての業務が実務経験対象になります。</p>
<p>特養へ就職 6年 対象国家資格等登録</p> <p>○-----●-----☆</p> <p>介護業務 特養退職 対象外業務(無職) 受験</p> <p>※国家資格等に登録された時点で、受験資格に必要な実務経験期間が10年から5年となります。</p>

(2) 訪問介護員養成研修2級課程修了者もしくは、社会福祉主事任用資格者の場合



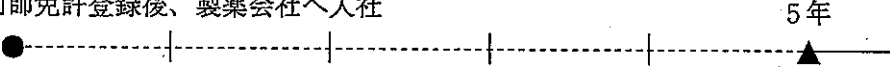
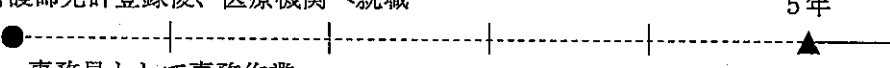
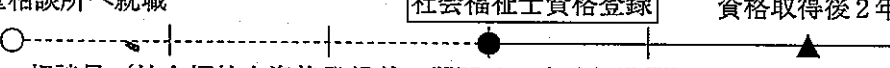
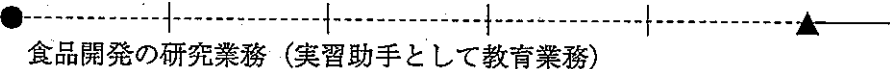
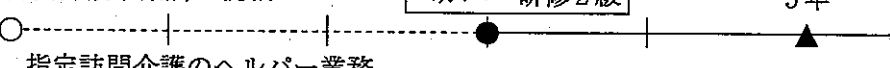
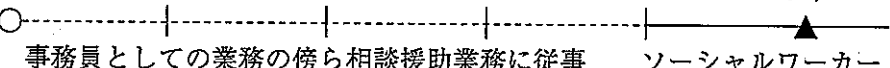
(3) 受験資格表(イ)の別表2の業務に1年以上従事した者の場合

<p>特養へ就職</p> <p style="text-align: right;">5年 ☆ 受験</p> <p>※受験資格表(イ)の別表2の相談援助業務に従事。</p>
<p>指定居宅サービス事業所</p> <p style="text-align: right;">特養へ就職 5年 ☆ 受験</p> <p>※勤務先が変わっても実務経験期間の通算ができます。</p>
<p>特養へ就職</p> <p style="text-align: right;">医療機関へ就職 5年 ☆ 受験</p> <p>※受験資格表(イ)の別表3の業務は、受験資格表(イ)の別表2の業務に1年以上従事した場合、実務経験とすることができます。</p>
<p>特養へ就職</p> <p style="text-align: right;">6年 特養へ就職 受験 ☆</p> <p>※受験資格表(イ)の別表2の業務に1年以上従事した時点で、受験資格に必要な実務経験期間が10年から5年となります。</p>

(4) 前記(1)~(3)以外の者で、介護業務に従事している場合

<p>特養へ就職</p> <p style="text-align: right;">10年 ☆ 受験</p> <p>※受験資格表(イ)の介護業務に従事。</p>
<p>A 特養へ就職</p> <p style="text-align: right;">10年 ☆ 受験</p> <p>B 特養へ就職</p> <p style="text-align: right;">10年 ☆ 受験</p> <p>※勤務先が変わっても実務経験期間の通算ができます。</p>

(5) 実務経験対象外業務のため、受験資格に該当しない場合

<p>薬剤師免許登録後、製薬会社へ入社</p>  <p>医薬品の研究業務</p> <p>※要援護者に対する対人の直接的な援助業務でないため。</p>
<p>准看護師免許登録後、医療機関へ就職</p>  <p>事務員として事務作業</p> <p>※国家資格等を取得していても、受験者の本来業務が国家資格等に基づく業務でないため。</p>
<p>児童相談所へ就職</p>  <p>相談員（社会福祉士資格登録前の期間は、実務経験期間にカウントせず）</p> <p>※受験資格表に定める業務以外については、実務経験として算定できません。 ただし、国家資格等登録後、その国家資格に基づく業務に従事した期間は実務経験となります。</p>
<p>栄養士免許取得後、食品会社に入社（栄養士養成施設に就職）</p>  <p>食品開発の研究業務（実習助手として教育業務）</p> <p>※要援護者に対する対人の直接的な援助業務でないため。</p>
<p>指定訪問介護事業所へ就職</p>  <p>指定訪問介護のヘルパー業務</p> <p>※ヘルパー資格のない方による指定訪問介護は認められないため。</p>
<p>在宅介護支援センターに事務員として就職</p>  <p>事務員としての業務の傍ら相談援助業務に従事 ソーシャルワーカー</p> <p>※受験資格表イの別表2-(1)の業務は施設等において必置とされている職種であることが、職務上明確に位置づけられていない方は実務経験として算定できません。</p>